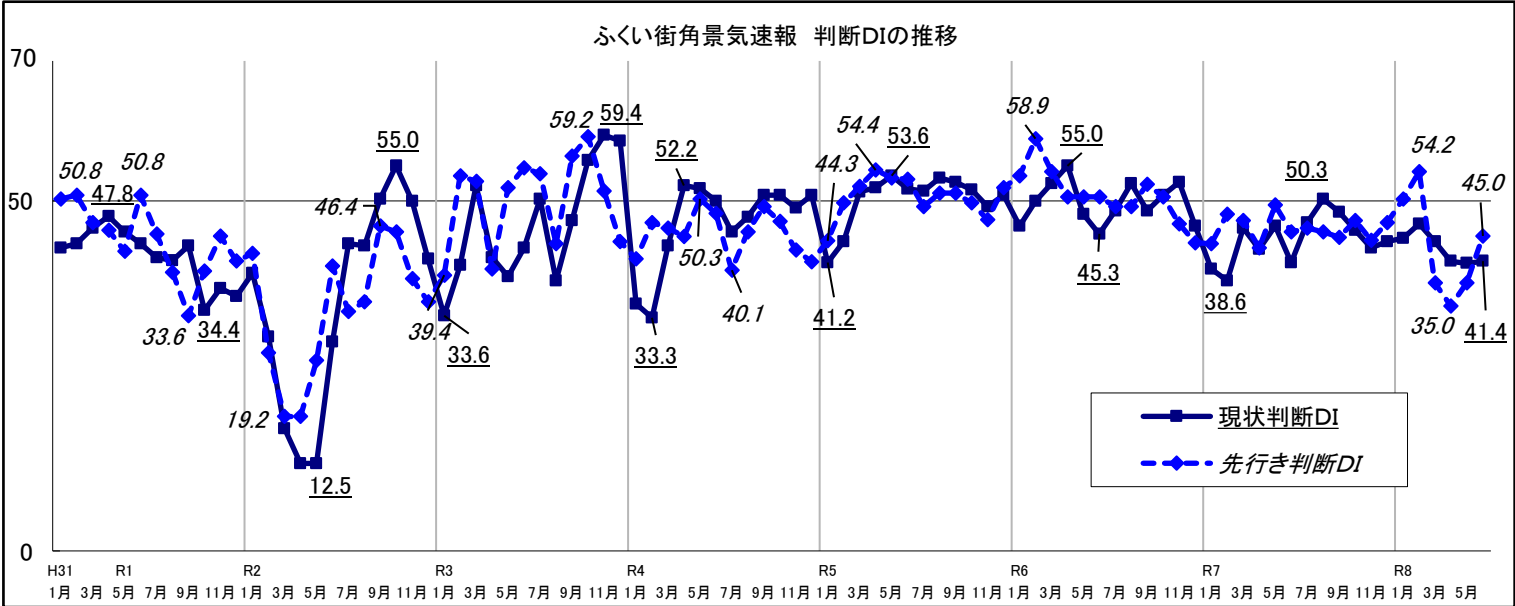


ふくい街角景気速報

(令和8年6月分)

調査期間 令和8年6月18日～25日 (回答率：90%)

概 況		
景気の現状判断DIは41.4となり、前月と比べ0.3ポイント上昇した。		
景気の先行き判断DIは45.0となり、前月と比べ6.7ポイント上昇した。		
■景気の現状判断DI	41.4	(前月比 0.3)
○家計動向関連では、前月に比べ 0.5ポイント 低下した。		
○企業動向関連では、前月に比べ 1.5ポイント 低下した。		
○雇用関連では、前月に比べ 9.1ポイント 上昇した。		
(意見の主な内容)		
○イベント等が少ない時期で当該地域への流入が停滞しているように思うが、週末の利用については安定している。また、エネルギー価格の高騰がピークになり、経営圧迫の大きな要因となっている。(観光関係)		
○想定ほどの売上の大きな落ち込みなどはないが、原材料等の高騰や不足の影響が大きく、楽観視できる状況ではない。(電気機械関連)		
○原油価格高騰が長引いたことが業績圧迫に直撃している。制度融資の借入などの対応も出てきている。(銀行等金融関連)		
■景気の先行き判断DI	45.0	(前月比 6.7)
○家計動向関連では、前月に比べ 5.4ポイント 上昇した。		
○企業動向関連では、前月に比べ 7.5ポイント 上昇した。		
○雇用関連では、前月に比べ 9.1ポイント 上昇した。		
(意見の主な内容)		
○6月から開始された「ふくアプリ」のプレミアムキャンペーン等の効果により、多くの顧客が来訪しており、地域消費活性化の恩恵を実感している(観光関係)		
○イランをめぐる戦闘終結合意などの報道により、ナフサの調達不安やエネルギー供給の緊張緩和が図られつつある。(化学・プラスチック関連)		
○国内の金利上昇傾向および中東情勢の長期化に伴う先行き不透明感が、今後の経営上の懸念材料となっている。(建設・不動産関連)		



< 目次 >

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断D I	2 P
2. 景気の先行き判断D I	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数		調査客体数			
地区	対象地域	合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

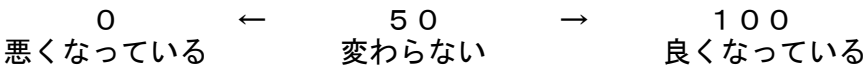
3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。



1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R8 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		44.7	46.7	44.2	41.4	41.1	41.4	+0.3
家計動向関連		44.6	42.0	46.2	40.8	41.8	41.3	▲0.5
小売		48.4	43.5	45.7	40.0	39.3	38.4	▲0.9
飲食		43.8	33.3	41.7	45.8	50.0	45.8	▲4.2
サービス		32.5	42.5	50.0	40.0	43.8	45.3	+1.5
企業動向関連		44.1	50.8	43.2	43.9	41.7	40.2	▲1.5
製造業		43.0	50.0	42.7	45.7	44.0	40.6	▲3.4
非製造業		47.2	52.8	44.4	40.0	34.4	38.9	+4.5
雇用関連		47.5	55.0	38.6	36.4	36.4	45.5	+9.1

○回答別構成比

	年 月	R8 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなっている		2.2%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	+0.0
やや良くなっている		11.1%	13.3%	14.4%	13.3%	13.3%	11.1%	▲2.2
変わらない		55.6%	60.0%	52.2%	44.4%	37.8%	44.4%	+6.7
やや悪くなっている		25.6%	22.2%	24.4%	32.2%	44.4%	38.9%	▲5.6
悪くなっている		5.6%	3.3%	7.8%	8.9%	3.3%	4.4%	+1.1

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R8 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		50.3	54.2	38.3	35.0	38.3	45.0	+6.7
家計動向関連		53.3	53.7	39.1	35.3	39.7	45.1	+5.4
小売		51.6	53.2	37.1	36.7	38.4	43.8	+5.4
飲食		62.5	54.2	37.5	29.2	37.5	41.7	+4.2
サービス		55.0	55.0	45.5	35.0	43.8	50.0	+6.2
企業動向関連		44.1	52.3	34.8	34.1	36.4	43.9	+7.5
製造業		42.0	51.0	36.5	37.0	38.0	42.7	+4.7
非製造業		50.0	55.6	30.6	27.5	31.3	47.2	+15.9
雇用関連		57.5	62.5	45.5	36.4	38.6	47.7	+9.1

○回答別構成比

	年 月	R8 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなる		2.2%	2.2%	0.0%	1.1%	1.1%	2.2%	+1.1
やや良くなる		18.9%	28.9%	16.7%	13.3%	14.4%	16.7%	+2.2
変わらない		58.9%	55.6%	33.3%	26.7%	28.9%	44.4%	+15.6
やや悪くなる		17.8%	10.0%	36.7%	42.2%	47.8%	32.2%	▲15.6
悪くなる		2.2%	3.3%	13.3%	16.7%	7.8%	4.4%	▲3.3

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	テレビドラマの影響で、地域の観光スポットを訪れる観光客が増加している。特定の観光名所や市場への集中が見られる一方、周辺の商店街への波及効果は限定的である。
	企業動向	福井	一般機械関連	建設機械部品製造業においては、輸出向けの北米や欧州など多くの地域で景気が回復しており、受注増加につながっている。
	雇用	嶺南	就職情報誌	北陸新幹線の効果により、敦賀へのビジネス客や旅行客の来訪が多いことが影響していると思われる。
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	物価高ではあるものの、価値のあるものや、睡眠・健康に関する購買意欲は下がっていない。一方で、日用品としてのタオルなどは苦戦している。
		福井	百貨店、SC等	先月同様に菓子売り場が好調である。大手ブランドと地元銘柄のコラボ商品や、ここにしかない全国の銘菓が人気で売上アップとなっている。グロッサリーなど日常のものはセールなどで売上を確保しているが、野菜や総菜は低迷している。
		奥越	百貨店、SC等	状況に変化がないためである。GWは悪くなかったが、それ以外は悪い。お金を使う時は使うが、日常では財布の紐が堅くなっているイメージがある。
		嶺南	飲食関連	停滞しているように感じる。ボーナスの出る月ではあるが、人の動きがないように感じている。
		嶺南	観光関係	昨年と比べても、国際博覧会や災害への懸念などの不安要素がなくて、年初より好調である。引き続き先行予約も順調で、良い成績を出せると思う。
		福井	観光関係	イベント等が少ない時期で当該地域への流入が停滞しているように思うが、週末の利用については安定している。平日の動きが鈍いように感じる。また、エネルギー価格の高騰がピークになり、経営圧迫の大きな要因となっている。原材料の高騰も継続している。
		福井	観光関係	業績実績として変わらない(やや悪化寄り)。
	企業動向	福井	一般機械関連	商談件数は現状維持、受注は生産計画に応じて抑制中である。
		丹南	建設・不動産関連	取引先によって受注や売上に波がある。微増の状況。
	雇用	福井	ジョブカフェ担当者	有効求人倍率は前月比0.01ポイント低下し、緩やかな減少基調にある。人材確保の状況に大きな変化はなく、依然として景気改善と評価するには慎重な判断を要する。
④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	一般小売店	物価高騰に伴う消費者の生活防衛意識の高まりにより、来店頻度の低下や購入額の減少が見られる。
		福井	百貨店、SC等	主力の化粧品はやや横ばいだが、衣料品は特に紳士領域が苦戦している。婦人物はシニア層の来店が激減しており、社会情勢や止まらない単価上昇の影響で、節約・低価格品志向となっている。
		福井	百貨店、SC等	特に今年春以降は「客数よりも購買力の弱さ」が目立つ状況である。食品や日用品は堅調だが、物価上昇による節約志向が依然として強い。来館者数は大きく落ちていないものの、買上点数の減少や衝動買いの抑制が見られる。衣料品や雑貨など非必需品の動きが鈍い。
		坂井	百貨店、SC等	燃料費、人件費をはじめとする諸経費の増加と、競合店舗の出店などによる売上の減少。
		坂井	観光物産関係	今月は閑散期になるが、価格の高い商品(3,000円～)の動きが非常に悪い。
		坂井	観光関係	物価高による旅行需要の減退。
	企業動向	坂井	繊維関連	物価高騰の影響で、取引先からの値上げ連絡が多くなってきている。
		丹南	電気機械関連	想定ほどの売上の大きな落ち込みなどはないが、原材料等の高騰や不足の影響が大きく、楽観視できる状況ではない。
		福井	化学・プラスチック関連	資材関連の価格上昇に伴い、全体が鈍化している。
		福井	銀行等金融関連	原油価格高騰が長引いたことが業績圧迫に直撃している。制度融資の借入などの対応も出てきている。
	雇用	坂井	自治体労働政策担当課	企業の借入に関する書類の提出が増えた。
		丹南	自治体労働政策担当課	地域内の製造業や建設業を中心に企業訪問しヒアリングを実施した結果、多くの中小企業者が石油由来製品(特に梱包資材、作動油等)の不足や高騰、材料不足など、国際情勢の影響を受けていると回答。
⑤悪くなっている	企業動向	福井	商社	一部の石油製品の仕入が不可能。お客様の消費控えが顕著である。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	福井	スーパー	中東情勢の安定化の兆しが見えてきたことで、これまでの過度な先行き不安が和らぎ、ビジネスや消費マインドに改善が見られ始めている。
		嶺南	飲食関連	6月から開始された「ふくアプリ」のプレミアムキャンペーン等の効果により、多くの顧客が来訪しており、地域消費活性化の恩恵を実感している。
		坂井	観光関係	プール営業開始に伴い繁忙期を迎えるが、ガソリン価格高騰が観光客の来訪動向に与える影響が懸念され、見通しは不透明である。
	企業動向	福井	化学・プラスチック関連	イランをめぐる戦闘終結合意などの報道により、ナフサの調達不安やエネルギー供給の緊張緩和が図られつつある。
	雇用	福井	ジョブカフェ担当者	米国・イラン間の戦闘終結合意を契機として、中東情勢の安定化に伴う燃料・資材価格の高騰抑制、および景気後退への歯止めがかかることが強く期待される。
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	食料品を中心に足元の来館需要は安定している。夏休みやお盆商戦による一定の集客増が期待できるものの、物価高騰が続くなかで消費者の節約志向が大きく改善する兆しは見られない。
		丹南	百貨店、SC等	現時点では、物価高騰や物資不足の状況が好転する要因が見当たらない。政府の景気対策が消費活動をどこまで後押ししてくれるか、先行きが見通せない。
		嶺南	百貨店、SC等	日経平均株価は上昇傾向にあるものの、地方経済や足元のビジネス現場においては、景気回復の実感が伴っていない。
		坂井	スーパー	包装資材を中心としたコスト増加の基調が継続しており、足元の収益を圧迫している。
		嶺南	観光関係	国内外の観光需要は引き続き好調を維持している。先行きについても国内客8割、インバウンド客2割の割合で先行予約が順調に推移している。
		福井	観光関係	先行案件数、前年同期比ともに同水準での推移を維持している。
	企業動向	奥越	電気機械関連	受注数量が横ばいで推移しており、景況感に大きな変化は見られない。
		福井	IT関連	当面における受注案件の見通しや確定状況を基準として、慎重に景況感を判断している。
		福井	銀行等金融関連	今後、金利環境や経済情勢が劇的に改善・変化することは見込めないと想定されるため、引き続き市場動向を注視する必要がある。
		丹南	建設・不動産関連	国内の金利上昇傾向および中東情勢の長期化に伴う先行き不透明感が、今後の経営上の懸念材料となっている。
		福井	運輸関連	足元の取扱物量等の推移から総合的に判断し、当面の業況に大きな変動はないとみている(改善・悪化ともに出ない)。
	雇用	坂井	自治体労働政策担当課	不透明な国際情勢や物価高騰が続いており、依然として景気の先行きを見通せない状況が継続している。
④やや悪くなっている	家計動向	福井	百貨店、SC等	先月と変わらず、富裕層の顧客にも購買抑制の動きが出ている。正規価格時期の苦戦により、今後のセールに向けた十分な商品量を確保できないなど、足元の売上確保に苦慮している。
		坂井	観光物産関係	物価高騰の長期化により、観光客による土産品の買い控えの動きが見られる。
		嶺南	飲食関連	原油価格高騰に伴うナフサ価格の上昇等により、弁当容器をはじめとする包装資材や食材以外の費用負担が増加しており、収益を圧迫している。
		奥越	飲食関連	深刻な人手不足により、今後の店舗営業において臨時休業を余儀なくされるケースの増加が懸念される。
	企業動向	坂井	繊維関連	物価高騰によるコスト上昇分を速やかに製品価格へ転嫁することが困難な状況にあり、今後もしばらくは厳しい経営環境が続く可能性がある。
		奥越	繊維関連	国際情勢の緊迫化や不透明な社会情勢に伴う先行き懸念が強まっている。
		福井	眼鏡関連	業況改善の兆候が全く見られない。特に首都圏以外の地域市場における冷え込みが顕著である。
		福井	化学・プラスチック関連	中東情勢の緊迫化を背景とした原材料価格の高騰(値上げ)が継続しており、コスト負担が増加している。
⑤悪くなっている	企業動向	福井	繊維関連	米国・イラン間の戦闘終結合意報道に関わらず、経済が即座に正常化することはないとの見方が強い。自治体が7月から実施するプレミアム付商品券発行事業による消費喚起が期待される一方、消費が生活必需品の購入に限定され、想定通りの経済波及効果が得られないのではないかという懸念もある。
				繊維業界全体における取引や荷動きの低迷が顕著であり、市況は非常に悪化している。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長・従業員	2
観光物産関係		
	売場責任者	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブステーション担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、
あなたの身の回りの景気の状況についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。 今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、 悪くなっていると思いますか。 次の5つの中から、お選びください。
①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない ④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。
自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、 今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。 次の5つの中から、お選びください。
①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。
自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)